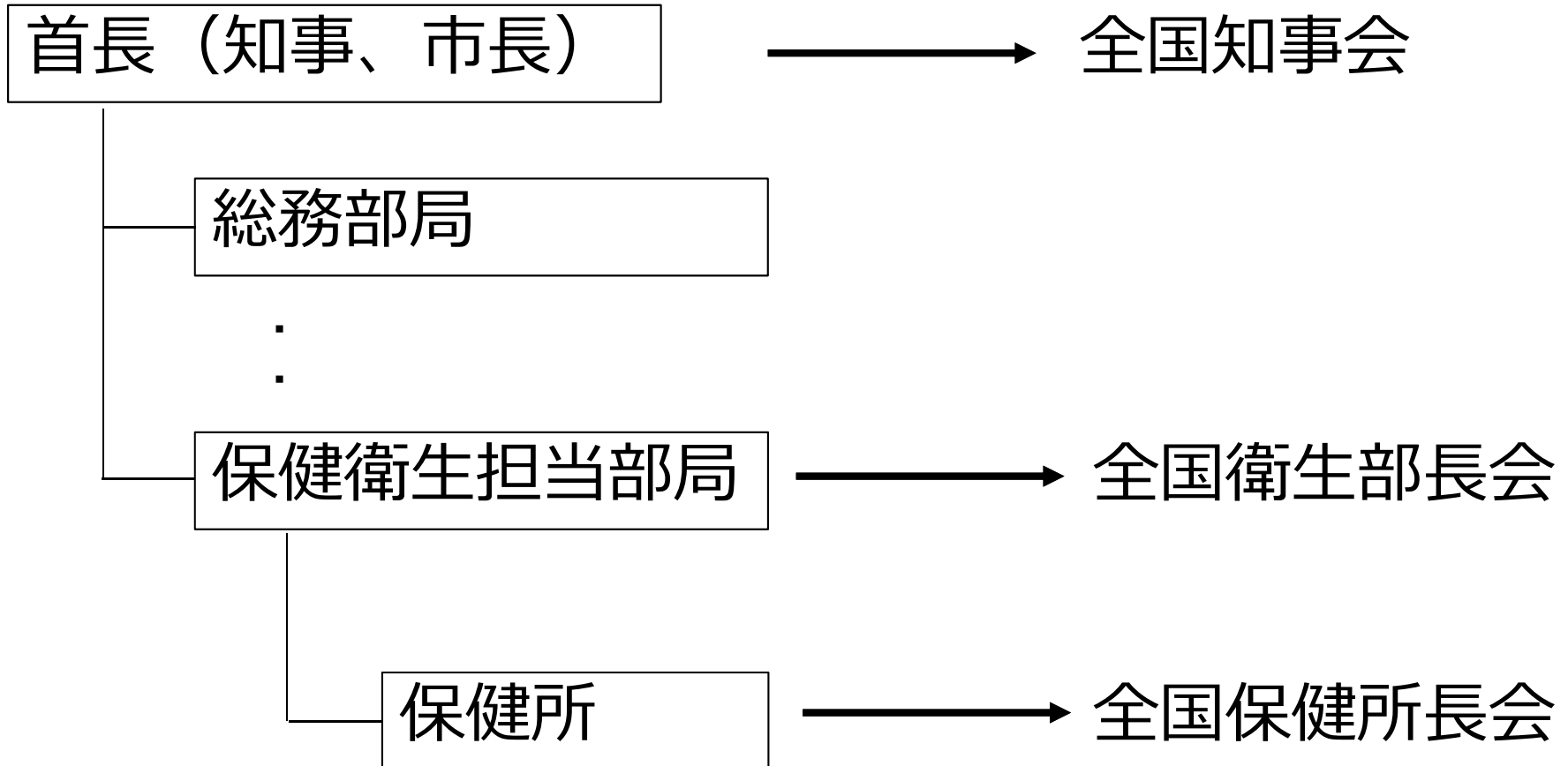


# 都道府県におけるAMR対策

全国知事会（静岡県知事） 川勝 平太

（代理 全国衛生部長会会長  
静岡県理事 鶴田 憲一 ）

# 都道府県・指定都市の行政組織



# 全国衛生部長会について



## 全国衛生部長会 規約

項目	説明
目的	衛生行政に関する都道府県及び指定都市間の連携を緊密にし、衛生行政の円滑な推進を図る
会員	原則として、都道府県及び指定都市の衛生主幹部局長の職にある者
事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 衛生行政に係る都道府県及び指定都市間の連絡調整に関する事業</li><li>・ 衛生行政の推進を図るために必要な施策の立案、調査研究及び情報提供に関する事業</li><li>・ 衛生行政に係る国に対する政策提言及び要望に関する事業</li><li>・ その他本会の目的を達成するために必要な事業</li></ul>

H31.1.17 第3回 全国衛生部長会総会



## 医療分野における薬剤耐性（AMR）対策

国立国際医療研究センター 副院長

AMR臨床リファレンスセンター センター長

大曲 貴夫

# 静岡県の取組



H29年3月 県内の医師・薬剤師・細菌検査技師有志が自発的に耐性菌や感染対策、抗菌薬適正使用の啓発・情報提供を目的に、**静岡県薬剤耐性菌制御チーム**を発足。  
(県疾病対策課長も当初から参加)

H30年3月 静岡県感染症発生動向調査委員会の専門部会として静岡県薬剤耐性菌制御チームのメンバーを中心に**静岡県薬剤耐性(AMR)対策部会**の設置決定、啓発・情報提供に加えて、注意喚起・助言等も実施。

## 静岡県薬剤耐性(AMR)対策部会 委員(11名)

静岡県医師会、自治体病院医師、診療所医師  
県薬剤師会、県病院薬剤師会、県環境衛生科学研究所  
学識経験者(感染症専門医、細菌検査技師等)

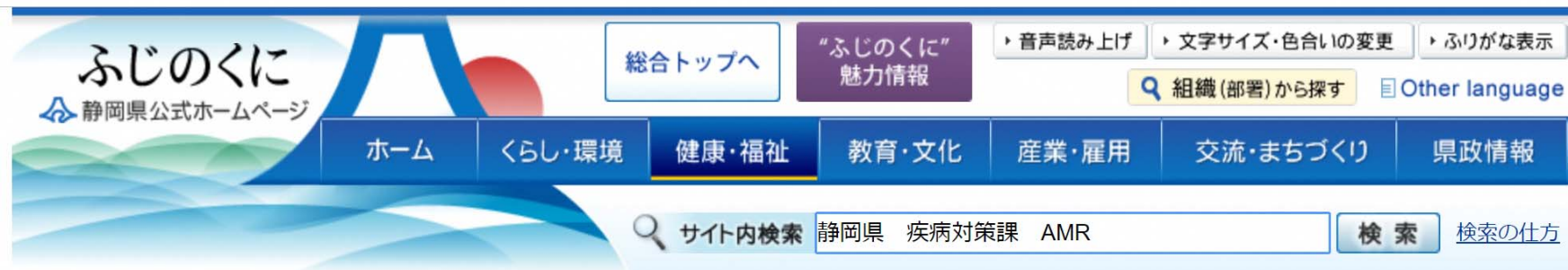
# 静岡県薬剤耐性対策部会の活動



年 度	取 組 内 容
平成30年	普及啓発の取組※ <ul style="list-style-type: none"> <li>・県ホームページ(HP)のAMR対策コンテンツの更新作業</li> <li>・地域での健康祭り等で耐性菌と抗菌薬について説明</li> </ul>
	「外来での抗菌薬適正使用手引き(成人版)」の県HP掲載
	静岡県アンチバイオグラム*作成のための調査方法検討
令和元年	バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)院内感染事例への助言
	「外来での抗菌薬適正使用手引き(小児版)」の県HP掲載
	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックにむけた輸入感染症相談体制整備を提案

- ※ 部会委員による郡市区医師会・薬剤師会等への講演・寄稿による啓発も継続実施  
 \* 標準的な抗菌薬に対する主要病原菌の感受性・耐性の割合を示した表及びグラフ

# 静岡県疾病対策課のホームページ



[ホーム](#) > [健康・福祉](#) > [医療](#) > [疾病対策課トップ](#) > [感染症情報センター](#) > [薬剤耐性 \(AMR\) 対策について](#)

## 薬剤耐性 (AMR) 対策について

抗生物質・抗菌薬などの抗微生物薬は現代の医療において重要な役割を果たしており、感染症の治癒、患者の予後の改善に大きく寄与してきました。その一方で、抗微生物薬の使用量が増大していくにつれて、その薬剤が効かなくなる菌が発生するという「薬剤耐性(AMR)」の問題をもたらしてきました。この問題に対して有効な対策が講じられなければ、※2050年には全世界で年間1,000万人が薬剤耐性菌により死亡することが推定されています。

## 静岡県ホームページ「薬剤耐性(AMR)対策」コンテンツ

- ①薬剤耐性(AMR)対策の概説
- ②薬剤耐性菌と抗菌薬の解説
- ③静岡県の主要病原菌耐性率とアクションプランに基づいた目標
- ④県内耐性率を参考にした外来診療での抗菌薬適正使用手引き
- ⑤都道府県別抗菌薬販売量から見る全国と静岡県の比較

# バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)対応



R01年夏

静岡県内の病院でバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)の集団感染事例が発生したため、**静岡県薬剤耐性対策部会**を緊急開催し、部会長名で県疾病対策課から

- ・医療機関あてに「**通知文**」
- ・医療機関及び高齢者施設あてに「**Q&A**」

を発出し、VREの注意喚起と正しい知識周知を実施。

	通知文	Q & A
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①VREの感染症と保菌</li> <li>②VREの感染経路</li> <li>③VREの感染対策 標準予防策の徹底 接触感染予防策の適応</li> <li>④保健所へのVRE感染症者の届出、保菌者の相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①VREとはどんな菌ですか？</li> <li>②VREの保菌と感染の違いは？</li> <li>③VREはどうやって診断する？</li> <li>④VRE感染対策はどうすれば？</li> <li>⑤標準予防策とは？</li> <li>⑥接触予防策とは？</li> <li>⑦VRE保菌者は転院できない？</li> </ul>



# 都道府県におけるAMR対策 まとめ



1. **全国衛生部長会**では、H31年1月の総会において  
**講演「医療分野における薬剤耐性（AMR）対策」**を  
開催し、各都道府県での取り組み促した。
2. **静岡県**では、**静岡県薬剤耐性（AMR）対策部会**を  
H30年に設置し、専門家の協議のもと、啓発や情報  
提供、助言等を実施している。